柴田学園大学のアセスメントポリシー

～ 3つのポリシーに基づく内部質保証のガイドライン ～

本学では、学生の学修成果の評価（アセスメント）について、機関（大学）レベル、教育課程（学科）レベル、科目レベル毎に、３つのポリシーを起点とした評価を実施する。なお、学修成果の評価方針、すなわちアセスメントポリシーは、APに関する検証評価(APを満たす入学かどうかの検証)、CPに関する検証評価(CPに基づいて学修が進んでいるかの検証)及びDPに関する検証評価(DPを満たす人材になったかの検証)からなっている。

時期と検証の目的 実施主体	**入学前・入学直後** 〔APを満たす入学かどうかの検証〕	**在学中(単位認定等)** 〔CPに基づいて学修が進んでいるかの検証〕	**卒業時(卒業後)** 〔DPを満たす人材になったかの検証〕
機関レベル （大学運営会議）	・入学試験 ・調査書等の記載内容 ・面接試験、志願理由書等 ・入学時満足度調査	・成績評価GPA(学務課) ・修得単位数(学務課) ・学生生活に関する実態調査(学生課) ・資格取得者(学務課) ・退学休学率(学務課)	・卒業時満足度調査(学生課) ・卒業生へのアンケート調査(学生課) ・学位授与数 ・就職率 ・学士能力(SPレーダー) ・学位授与状況
教育課程レベル （学科会議）	・入学試験 ・調査書等の記載内容 ・面接試験、志願理由書等 ・入学時満足度調査 ・ポートフォリオ ・個人面接	・成績評価 GPA(学務課) ・修得単位数(学務課) ・学生生活に関する実態調査(学生課) ・資格取得者(学務課) ・退学休学率(学務課) ・学士能力(学務課) ・ポートフォリオ ・授業評価アンケート(FD委員会)	・卒業時満足度調査(学生課) ・卒業生へのアンケート調査(学生課) ・学位授与状況 ・就職率
科目レベル （担当教員）	・入学前教育 ・基礎ゼミ	・成績評価 GP(学務課) ・学外実習評価 ・授業評価アンケート(FD委員会) ・学修履歴(ポートフォリオ)	・卒業研究の成績評価

※ 学生生活に関する実態調査(学修行動調査、満足度調査、課外活動状況):学生委員会、学生課

1. 機関レベル（全学） 実施主体:大学運営会議

学生の志望進路(就職率、就職満足度等)、学生の卒業率、休学・退学率、学生生活アンケート、卒業時アンケート等から学修成果の達成状況を把握し評価する。

2. 教育課程レベル（学科） 実施主体:学科会議

各学年及び4年間の学修成果の到達状況を、卒業要件達成状況、単位取得状況、全科目の平均点分布及び学士能力の可視化、学生の卒業率、就職率、休学・退学率、学生生活アンケート、卒業時アンケート、GPA、資格取得率等から学修成果の達成状況を把握し評価する。

3. 科目レベル 実施主体:担当教員

科目レベルにおける学修成果の到達状況を、シラバスの学修目標に対する評価、成績評価及び授業評価アンケート等から学修成果の達成状況を把握し評価する。